

令和7(2025)年度事業実施計画

NO.	公募時				年次計画内容	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		
1	自家用電気工作物点検	故障、漏電点検	毎年	年6回	高圧受電設備チェック、低圧電路の絶縁チェック、変圧器チェック、デマンド監視。デマンド監視隔月、及び年2回のキュービクル点検	年6回
2	エレベーター点検	故障点検	毎年	年4回	技術者による定期点検(3か月毎)および遠隔点検(毎月1回)、緊急時の対応等。	年4回
3	消臭設備(トイレ)点検	故障点検・消臭剤交換	毎年	年6回	環境衛生保全業務。トイレ・更衣室内の薬品・香料・消耗品の交換、機器の維持管理。	年6回
4	冷暖房設備点検	故障点検	毎年	年2回	冷暖房設備機器の保守点検。冷房シーズン1回、暖房シーズン1回	年2回
5	冷暖房設備点検	フロン点検	毎年	年4回	フロン排出抑制法に伴う簡易点検	年4回
6	消防用設備点検	設備不良・有効期限・設置場所の表示点検	毎年	年2回	消防用設備点検1回、防火対象物点検1回。	年2回
7	駐車場設備点検	故障点検	毎年	年4回	駐車場出入り口設備の定期点検	年4回
8	自動扉点検	故障点検	毎年	年4回	正面入口、西入口自動ドアの保守点検	年4回
9	電話交換機点検	故障点検	故障発生時	—	故障点検	故障発生時
10	給湯設備点検	故障点検	故障発生時	—	故障点検	故障発生時
11	放送設備点検	機器不良点検	故障発生時	—	機器不良点検	故障発生時
12	日常清掃	会議室・玄関・トイレ含む全館	毎年	毎日 (休館日を除く)	館内清掃 月・木・土曜:2時間・・・2名、 火・金・日曜:2時間・・・4名	毎日 (休館日を除く)
13	週単位清掃	屋外清掃	毎年	週2回	館外植栽区外の清掃	週2回
14	年単位清掃	植栽剪定・除草	毎年	年2回以上	植栽の剪定、雑草の除去、草花の整備、寒肥施肥	年2回以上
15	不定期清掃	窓ガラス・タイル洗浄・排水管洗浄	都度	—	館内のワックス掛け(フローリング床、樹脂床部) ガラス窓、排水管及びタイル洗浄	必要な都度
16	テニスコート整備	休館日の水曜日に実施	毎年	月2回	テニスコートの砂を均等に整地。隔週水曜日に2時間程度。	月2回

【本来事業】						
17	市内在住外国人が参画・企画するイベント コスモかふえの開催	市内在住外国人が当協会の外国人支援委員会に委員として企画段階から参画して、外国人の視点からの意見を反映したイベント 市内在住外国人と英語で交流する場を「コスモかふえ イングリッシュバージョン」として提供 芦屋市民と日本語で交流する場を「コスモかふえ ジャパニーズバージョン」として提供	毎年	3回以上	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。 コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版 ほか	3回以上
18						
19						
20	日本語ボランティアの養成・研修	外部専門講師の指導で、日本語を客観的に見直し、自信を持って学習者に教えられるように養成する。また、既存ボランティアのスキルアップのためのブラッシュアップ研修の実施	毎年	2回以上	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	2回
21	災害時外国人協力者の育成・研修				災害時外国人協力者の育成・研修	いずれか1回
22	外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修				外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修	
23	多文化共生に関する情報提供	多文化共生に関する各種情報を収集し、センター掲示板やホームページ上に掲示・掲載するなど情報発信。日本語ボランティアならびに外国人支援委員会にも周知し、市内在住外国人に情報を提供	随時		多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	随時
24	国際理解(多文化共生)講演会	諸外国の実情への理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを各国大使、総領事を講師に開催	毎年	1回	ニュースなどで市民が大きな関心を寄せる世界情勢について理解を深めたり、その国の言葉や文化などに直接触れることで親近感を持ち温かな国際交流を育めたりする内容やテーマについてセミナーを開催	1回
25	日本語教室	市内在住外国人(中学生以上)に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的としたマンツーマンの日本語学習支援	毎年	週4日全5クラス	市内在住外国人(中学生以上)に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的としたマンツーマンの日本語学習支援	週4日全5クラス
26	子どものための日本語教室	外国にルーツを持つ市内在住小学生に対して、日常生活や学校生活がスムーズに送れるように「子どものための日本語教室」を実施	毎年	週1日全1クラス	外国にルーツを持つ市内在住小学生に対して、日常生活や学校生活がスムーズに送れるように日本語学習をサポート	週1日全1クラス

27	多言語での防災情報提供	芦屋市や内閣府が発信する防災情報をやさしい日本語と多言語に翻訳して提供	随時		芦屋市や内閣府が発信する防災情報をやさしい日本語と多言語に翻訳して提供	随時
28	市内在住外国人向け防災教室	災害時に情報弱者となりがちな在住外国人に向けて、防災の知識を普及する講座の開催	毎年	1回	災害時に情報弱者となりがちな在住外国人に向けて、防災の知識を普及する講座の開催	1回
29	多言語での相談窓口	やさしい日本語、英語（随時）、中国語（土日）、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語は予約制で随時、音声自動翻訳機も活用して対応	毎年	各言語月1回以上	やさしい日本語、英語（随時）、中国語（土日）、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語は予約制で随時、音声自動翻訳機も活用して対応	各言語月1回以上
30	姉妹都市交流事業	学生親善使節交換事業	毎年	1回	学生親善使節交換事業	1回
31	姉妹都市提携65周年記念事業	姉妹都市提携周年事業（モンテベロ市民訪問団受け入れ）	令和8年	1回	-	-
32	姉妹都市の情報提供	情報掲示板・情報コーナーなどに、毎年の学生親善使節の募集や5年に1度の記念訪問団派遣の参加者募集のポスターを貼り、この事業を広く知ってもらい応募者を募る。ポスターにはQRコードを掲載し、より詳細な情報をスマートフォンから入手できるようにする。また、ポスターに掲載できない姉妹都市交流の歴史や事業についても、QRコードからスマートフォンで読めるようにして、姉妹都市事業への市民の関心と理解を深めてもらう。	毎年	1回	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナー、広報あしやなどを利用して情報を提供します。 市内小学校（精道小学校）と姉妹都市（モンテベロ市）小学校間の交流の手助けをします。	1回

33	国際交流関係団体等のマネジメント	・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室（茶道・書道・華道）を開催します。 ・阪神間国際交流協会（阪神・丹波ブロック会議）、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	都度		・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室（茶道・書道・華道）を開催します。 ・阪神間国際交流協会（阪神・丹波ブロック会議）、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	都度
34	施設パンフレット	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	令和6年	1回	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	1回
35	施設のホームページ運営	ホームページを適宜更新し、イベント情報や外国人向け防災情報などを「やさしい日本語」と「多言語」でも提供していきます。 また、インスタグラムを始めるなどSNSを利用し、より積極的な情報発信に取り組みます。	都度		施設のホームページ多言語による運営（やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語）	都度
36	施設の提供に関する事	ご意見箱を常設するとともに窓口でのお声掛けや日常会話などの自然な声掛け、コミュニケーションから意見を吸い上げ、きめ細やかなサービスと質の向上をめざします。 施設利用者向け定期アンケートにより利用者満足度を調査して改善点を洗い出し、可能な限りの対応を心がけます。 年1回、職員の接遇マナーOJT研修を行うとともに、定例ミーティングにおいても自己評価を行い、改善点を職員同士で共有することで、より心のこもった品質の高いサービスの提供に努め、利用人数・利用件数の増加を図ります。	都度		意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング 利用率向上の為の工夫：トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にします。	都度

【自主事業】						
1	姉妹都市提携65周年記念事業	姉妹都市提携周年事業（芦屋市民訪問団の派遣）	令和8年	1回	-	-
2	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズに、世界の国々の家庭料理に加えて異国の文化や習慣などを紹介する教室	毎年	月1回 （除8月、1月）	4月「タイ編」5月「フランス編」以降未定	月1回 （除8月、1月）
3	潮芦屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験者など。	毎年	2回	6月「英語落語」、以降未定	2回
4	潮芦屋コンサート	市民に気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、クラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、邦楽演奏など、幅広いジャンルのコンサートを開催	毎年	3回	7月「ハワイアン」以降未定	3回
5	ワールドフェスタ	コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供するイベント	毎年	1回	10月ワールドフェスタ「音楽、ダンスと世界の料理、世界の雑貨の買い物を楽しむ」	1回
6	英会話教室	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室、外国人講師による英会話教室の合計7教室を定期的に関講。各クラスとも少人数制で、レベルに応じた柔軟で充実した内容を用意。語学教室という「枠」にとらわれず文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てる語学教室とする	毎年	週4日全5クラス	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室、外国人講師による英会話教室の合計7教室を定期的に関講。各クラスとも少人数制で、レベルに応じた柔軟で充実した内容を用意。語学教室という「枠」にとらわれず文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てる語学教室とする	週4日全5クラス
7	英語教室		毎年	週2日全2クラス		週2日全2クラス
8	日本伝統文化教室	市内在住外国人を対象に、日本の伝統文化（華道、書道、茶道）に触れる機会を提供するための文化教室を開催	毎年	各6回	市内在住外国人を対象に、日本の伝統文化（華道、書道、茶道）に触れる機会を提供するための文化教室を開催	各6回以上

9	やさしい日本語講座・普及活動	市民とボランティアの人達が、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する	毎年	1回	市民とボランティアの人達が、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する	1回
10	外国人向け情報紙の発行	「コスモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。 ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	毎年	6回	廃刊	
11	文化イベント	市内在住外国人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベント。「七夕まつり」「雛まつり」「端午の節句」「日本語スピーチ」など	毎年	1回	市内在住外国人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベント。「七夕まつり」「雛まつり」「端午の節句」「日本語スピーチ」など	1回
12	体験学習（施設見学）	国際交流のための日帰りの施設見学（体験学習などを含む）を実施。	毎年	1回	国際交流のための日帰りの施設見学（体験学習などを含む）を実施。	1回
13	地域コミュニティ発展への取り組み	地域社会とのつながりの強化	毎年	都度	市内小学校（潮見小学校）の多文化共生授業へ出張授業、市内小学校の課外授業「町探検」受け入れ	都度
14		地域コミュニティへの協力			地域のボランティア活動団体「潮芦屋ふれあいげんきの会」の会員として地域住民、地域団体と連携・協働によるイベント等の活動で地域の活性化と発展を図る	都度
		芦屋市への貢献			市内在住外国人向け日本語教室、災害時の情報提供・防災教室を開催して市内在住外国人の地域への定着とトラブル防止を図る。	都度
		地域イベント「オータムフェスタ」の共催・連携			地域のイベント「オータムフェスタ」に合わせて「ワールドフェスタ」を開催することで集客と地域の盛り上げに寄与する。	-
15		地域ボランティア活動との連携			「ひとり一役活動」と連携して地域ボランティアへ活動の場を提供することで、地域の発展を図る。また、潮芦屋交流センターのカーデンで在住外国人と共に活動することでお互いにふれあい理解を深める機会を提供する。	都度